

伝説の四国水景

# 龍宮の景



龍宮と四国の地、意外なつながりとは？  
仏教芸術、書アート、光の切り絵が織り成す  
神秘的で芸術的な龍宮の世界。

仏師

松久佳遊



書家

柏木白光



光の切り絵作家

酒井敦美



四国水族館  
SHIKOKU AQUARIUM

企画協力：四国州庁水族園場會



浦島太郎が旅した龍宮城、四国の地（香川県三豊市）にも、浦島太郎の言い伝えがある。  
また、各地の海を司る神の宮（神社や寺院）には、  
建立の由来を説いた物語に、龍宮が登場するものも少なくない。  
仏陀をあらわす梵字（インドの古代語）は、この「龍宮」から持ち帰ったとされる逸話も残っている。  
そして、それは讃岐の郷土が生んだ偉人、弘法大師・空海により各地に広められ、  
四国八十八ヶ所霊場に今も受け継がれている。  
悠久の時を経て、伝説の四国水景「龍宮の景」が四国水族館に現れる。

## 展示概要とアーティスト



### ZONE. 1 海への誘い

ウミガメに導かれ、これから始まる海の世界へのプロローグ。  
龍宮への誘いを、仏師・仏絵師 松久佳遊氏による優しくダイナミックな作品、香りや照明演出などにより表現しています。



仏師 松久 佳遊



### ZONE. 2 龍宮への回廊

書家 柏木白光氏による薬師経に包まれた神聖な空間。経典で描かれた墨絵、そこに浮かび上がる守護仏の梵字。四国にまつわる神々と四国八十八ヶ所霊場。神と仏の融合による特別なエネルギーを感じながら回廊は龍宮殿へと向かいます。



書家 柏木 白光



### ZONE. 3 龍宮殿

切り絵作家 酒井敦美氏による彩り豊かな光の切り絵により、煌びやかで神秘的な龍宮の水中世界を表現しています。奥には、龍宮門がそびえ立ち、乙姫の気配を感じる空間です。



光の切り絵作家 酒井 敦美

### 協力アーティスト

光の切り絵 楽曲：池田綾子  
香り演出：和泉侃

## 企画協力



### 四国八十八ヶ所霊場会

「龍宮の景」に展示しております作品「同行二人～四国八十八ヶ所霊場～」中の“同行（どうぎょう）二人（ににん）”の文字は、四国八十八ヶ所霊場会大林会長より御献言を頂戴し、書家 柏木白光氏が揮毫。また、各寺院ご本尊様の梵字照合は、四国八十八ヶ所霊場寺院にご協力頂きました。なお、同作品は、弘法大師・空海ゆかりの善通寺並びに四国八十八ヶ所霊場会のご協力を得て、同寺境内で制作されました。

## 龍宮の宴

アートワークや龍宮玉手箱など、さまざまな体験をお楽しみいただけます。



四国水族館  
SHIKOKU AQUARIUM

■一般料金：大人（16歳以上／高校生）2,200円 小・中学生1,200円 幼児（3歳以上）600円  
■営業時間：9：00～18：00 年中無休 ■住所：香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁 4  
■ホームページ：<https://shikoku-aquarium.jp/> 四国水族館 検索